

白川文字学 ニュース

発行H30.10
福井県教育委員会
生涯学習・文化財課
No.14



国内最大のスポーツの祭典である「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」が閉幕しました。福井県勢は、国体で天皇杯と皇后杯獲得、障スポでのメダル数は過去最多の百三十個と大活躍でした。今回は、「福」と「祭」という二つの漢字のつながりについて紹介します。



(写真提供) 福井県教育庁競技力向上対策課、福井県スポーツ協会



「示」とつながる漢字

「福」と「祭」は、「示」とつながって
いたんだね。



篆文 示



金文 福

もとの字は福で、音を表すのは畠。畠は酒だるのようにまん中がふくらんだ器の形。示は祭卓(神を祭る時に使う机)であるから、神前に酒だるを供えて祭り、幸いを求めることを「福」といい、「さいわい、神のたすけ」の意味に使う。

金文 祭

サイまつり 月と又と示とを組み合わせた形。月は肉の形、又は手の形、示は祭卓(神を祭る時に使う机)の形。祭卓に手でいけにえの肉を供えて祭ることを祭とい、「まつり」意味である。

(白川静『常用字解』より)



白川静博士ってどんな人?



記念碑

エピソード④ 白川静先生は、一九一〇年(明治四十三年)に福井市で生まれました。生誕地跡(福井市大手三丁目)には、先生の功績を称え、記念碑が建てられています。その記念碑は、高さ一二十cm、幅七十cmの御影石で、正面には先生が生前最も好んだ「遊」の古代文字(遊)が刻まれています。